令和５年度

一般選抜（Ｉ期）問題

試験日　２月２日

世界史

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

注意事項

① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
② 開始の合図後、解答用紙に「氏名」、「個人番号」を記入すること。
③ 受験票、筆記用具以外は、机上に置かないこと。
④ 受験票は机上に貼付してある「個人番号」の手前に置くこと。
⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では句読点は１字として数えること。
⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
⑦ 試験中は退席しないこと。（気分が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に知らせること）
⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

1、次の〔A〕～〔J〕の各文章は、世界史に大きな影響を与えた諸勢力間の戦争について書かれたものです。よく読んで、以下の設問に答えなさい。

〔A〕イオニア地方の反乱をきっかけにペルシャ戦争が起きた。（①）の率いた海軍がサラミスの海戦で勝利するなど、アテネを中心としたギリシャ世界がアケメネス朝ペルシャの侵略を阻止して[a]民主政を完成させた。

〔B〕オクタヴィアヌスとエジプト女王クレオパトラ・アントニウス連合軍との間でアクティウムの海戦が起きた。これに勝利したオクタヴィアヌスに元老院から（②）の称号が与えられ、ここにローマにおいて[b]前期帝政が始まった。

〔C〕アッバース朝イスラム帝国と唐との間でタラス河畔の戦いが起きた。この時の唐は皇帝（③）の晩年の時代であり政治は乱れ社会体制も動揺をきたしていたこともあり、[c]イスラム側が勝利した。

〔D〕英国とフランスとの間に、フランスの王位継承をめぐり百年戦争が起きた。フランスのカペー朝の断絶による（④）朝の成立を契機に起きたこの戦争は、両国にとって諸侯などの没落を招き王権伸長による[d]絶対王政へと導いた。

〔E〕オスマン帝国とスペイン・ヴェネチア連合軍との間にプレヴェザの戦いが起きた。この戦いに勝利した[e]オスマン帝国は地中海の覇権を獲得し、（⑤）の統治下における帝国最盛期を象徴する成果とした。

〔F〕ドイツでは、（⑥）地方において新教徒がカトリック教の強制に反対したことを契機に30年戦争が起きた。この新旧教徒の宗教的対立は[f]国際紛争にまで発展し、主戦場となったドイツは荒廃し歴史の停滞を招くことになった。

〔G〕アヘン問題をめぐり英国と清朝との間でアヘン戦争が起きた。英国は近代兵器により清朝を圧倒し、（⑦）を結ぶことで香港を得るなど中国に対する[g]半植民地化の始まりをなした。

〔H〕米国において北部と南部との間で[h]経済政策の対立などをめぐり南北戦争が起きた。リンカン大統領による奴隷解放宣言で世論の支持を得た北部は、1863年の（⑧）の戦いで勝利をおさめると優勢となり、その後に南北を統一して米国発展への道をひらいた。

〔Ｉ〕日本と清朝との間で朝鮮半島への影響力をめぐり日清戦争が起きた。この戦争に勝利した[i]日本は清朝と（⑨）を結んで台湾の割譲を受けるなど、大陸進出への足掛かりを得た。

〔Ｊ〕オーストリアの皇太子をセルビアの青年が暗殺した（⑩）事件を契機として第一次世界大戦が起きた。この三国同盟と三国協商との対立は[j]諸外国を巻き込んでの泥沼の長期戦となり、ドイツの無制限潜水艦戦などにより米国が参戦したことで勝敗は決した。

〔設問１〕文章中の（①）～（⑩）に入れるのに最も適する語句を答えなさい。

〔設問２〕下線ａについて、民主政の完成に中心的役割を果たした人物とは誰かを答えなさい。

〔設問３〕下線ｂについて、この時代にローマを最大領土とした人物とは誰かを答えなさい。

〔設問４〕下線ｃについて、この時に捕虜となった唐軍からイスラム世界へと伝えられたものとは何かを答えなさい。

〔設問５〕下線ｄについて、フランス絶対王政の最盛期に国王であった人物とは誰かを答えなさい。

〔設問６〕下線ｅについて、後に地中海の覇権をオスマン帝国からスペインが奪うことになった戦いとは何かを答えなさい。

〔設問７〕下線ｆに関連して、「国際法の父」とも呼ばれこの国際紛争を終わらせるためのウェストファリア条約の成立に影響を与えた人物とは誰かを答えなさい。

〔設問８〕下線ｇについて、中国の半植民地化に関連する以下の項目を時代順に古いものから新しいものへと並べたとき、２番目と４番目になるものを各々記号で答えなさい。

ア．フランスと黄埔条約の締結

イ．列強と北京議定書の締結

ウ．ロシアとイリ条約の締結

エ．日本の対華 21 カ条の要求をほぼ承認

オ．アロー戦争後の北京条約の締結

〔設問９〕下線ｈについて、米国の南部が自由貿易を主張した理由とは何かを答えなさい。

〔設問 10〕下線ｉについて、日本は条約締結後に三国干渉によって遼東半島を返還した。その際の三国の組み合わせとして正しいものを以下より選び記号で答えなさい。

ア．ロシア、英国、米国

イ．英国、ドイツ、フランス

ウ．フランス、ロシア、ドイツ

エ．米国、フランス、英国

オ．ドイツ、米国、ロシア

〔設問 11〕下線ｊについて、以下の項目のうちこの泥沼の長期戦の最中での出来事でないものを一つ選び記号で答えなさい。

ア．フセイン・マクマホン協定　　イ．サイクス・ピコ協定

ウ．サン・ステファノ条約　　エ．ブレスト・リトフスク条約

オ．バルフォア宣言

〔設問 12〕以下の人物について、〔A〕～〔H〕の各文章の内容のうち最も関係の深いものを各々選び記号で答えなさい。また、該当する文章がない場合は ×で答えなさい。

ア．林則徐　　イ．グスタフ・アドルフ

ウ．ヴィルヘルム２世　　エ．エドワード黒太子

オ．ダレイオス１世

〔設問 13〕以下の出来事について、〔A〕～〔H〕の各文章の争いのうち時期が一番近いものを各々選び記号で答えなさい。ただし、各文章の争いが勃発した年で判断すること。

ア．カルヴァンが『キリスト教綱要』を著わす

イ．ヴェルギリウスが『アエネイス』を著わす

ウ．陳独秀が『新青年』を創刊する

エ．杜甫が「春望」などを詩作する

オ．ボッカチオが『デカメロン』を著わす

〔設問 14〕〔J〕の文章に関連して、第一次世界大戦後の 1925―1930 年における戦争再発防止のための国際協調の努力について 60 字以内で説明しなさい。

2、次の〔A〕～〔F〕の各文章は、ロシアの歴史上の人物に関連して書かれたものです。よく読んで、以下の設問に答えなさい。

〔A〕貴族勢力を抑え中央集権化を図るなど雷帝と恐れられた人物である。a領土の拡大にも努め、コサックの首長であった（①）によるシベリア遠征なども行われた。

〔B〕大帝と呼ばれ積極的対外政策によりロシアをバルト海の覇者とした人物である。この人物は（②）においてカール12世のスウェーデンを破り、中国とはbネルチンスク条約を締結して国境を画定した。

〔C〕東方政策では（③）を根室に派遣し鎖国下の日本を驚かせた人物である。この人物は初期には啓蒙専制君主としての政策を行ったが、途中から貴族と妥協しc農奴制を強化することになった。

〔D〕在位直後のdクリミア戦争の敗北を契機に様々な国内改革を行った人物である。けれども、農奴解放令も不徹底であり産業革命の遅れもあって改革が進まず、再度専制政治を強化したこの人物は（④）と呼ばれる集団の一部によるテロリズムで暗殺された。

〔E〕ロマノフ朝の最後の皇帝であった人物である。血の日曜日事件後の改革が成功せず首相に（⑤）を登用して再度専制化したこの人物は、その後のレーニンらによるeロシア革命のなか銃殺された。

〔F〕ソヴィエト社会主義共和国連邦において政敵を大粛正し個人崇拝を強要して独裁者となった人物である。この人物は第二次世界大戦中において日本と（⑥）を締結して独ソ戦に専念し勝利するなど巧妙な外交政策を展開し、戦後のf東西冷戦構造の成立に大きな影響を与えた。

〔設問１〕文章中の（①）～（⑥）に入れるのに最も適する語句を答えなさい。

〔設問２〕〔A〕～〔F〕の各文章の冒頭で説明される人物とは誰かを各々答えなさい。

〔設問３〕下線ａについて、以下の項目のうちロシアの領土拡大と最も関係の深いものを一つ選び記号で答えなさい。

ア．ユトレヒト条約　　イ．メルセン条約　　ウ．マーストリヒト条約

エ．ローラット法　　オ．トルコマンチャーイ条約

〔設問４〕下線ｂについて、この条約締結の時に中国の皇帝であった人物とは誰かを答えなさい。

〔設問５〕下線ｃについて、この政策を採るきっかけとなった出来事とは何かを答えなさい。

〔設問６〕下線ｄについて、この戦争の終結のために締結された条約とは何かを答えなさい。

〔設問７〕下線ｅについて、ロシア革命とその後の展開に関連する以下の項目を時代順に古いものから新しいものへと並べたとき、２番目と４番目になるものを各々記号で答えなさい。

ア．シベリア出兵による対ソ干渉戦争の勃発

イ．四月テーゼの発表

ウ．第一次５か年計画の実施

エ．新経済政策（ネップ）の採用

オ．国会（ドゥーマ）の開設

〔設問８〕下線ｆについて、東西冷戦の時代における東側の軍事同盟とは何かを答えなさい。

〔設問９〕以下の出来事について、〔Ａ〕～〔Ｆ〕の各文章の冒頭の人物のうち最も関係の深いものを選び記号で答えなさい。また、関係する人物がない場合は×で答えなさい。

ア．平和五原則を発表した

イ．ペテルブルクを首都とした

ウ．ウィーン体制下において神聖同盟を提唱した

エ．ポーツマス条約を締結した

オ．ポーランド分割を三度にわたって行った

〔設問 10〕以下の他国の出来事について、〔Ａ〕～〔Ｆ〕の各文章の冒頭の人物のうちどの人物の在位中に起きたものかを選び記号で答えなさい。また、該当する人物がない場合は×で答えなさい。

ア．ベトナムではファン・ボイ・チャウがドンズー運動を盛んに行った

イ．タイではチュラロンコン（ラーマ５世）が若くして王位に就いた

ウ．中国では張居正が財政立て直しのための改革を行った

エ．英国では名誉革命が起き権利の章典が制定された

オ．米国ではボストン茶会事件が起きた

〔設問 11〕９世紀におけるロシアの起源となる歴史の展開について 60 字以内で説明しなさい。